Well－Being Challenge おおがわら

ニュースポーツ体験会を実施しました!!

各種大会・教室実施結果報告

大河原町野球スポーツ少年団
連絡協議会秋季大会
…10月10日実施

【Aブロック】優　勝　大河原スターズJr
準優勝　大河原ウイングス









ニュースポーツ体験会のご相談は、**スポーツまちづくり推進課**へ！

みんなでリガーレ仙台を応援しましょう!!



本町はリガーレ仙台のホームタウンです。

＜試合日程＞　令和8年11月28日㈯、29日㈰
＜会　　場＞　ヒルズはねっこアリーナ

※今シーズンで本町で開催される試合は、この日程のみとなります。

町民無料招待　各日先着100名
申込・詳細は、右記二次元コードから
申込期間　11月9日～20日
（定員になり次第締め切り）

WBCおおがわらの問合先▶スポーツまちづくり推進課　☎0224－87－8040

かんたん 健康 Cooking

しそ昆布とレタスのサラダ



【ひとり分栄養価】
エネルギー：42Kcal　　塩分：1.1ｇ

問合先　健康推進課　健康推進係（1階④番窓口）
☎0224－51－8623



材　料（2人分）

・レタス……2枚
・カニかま……2本
・ハム……1枚
・さきいか……10ｇ
・しそ昆布……10ｇ

作り方

①レタスは、食べやすい大きさにちぎる。
②カニかまは細長くさく。
③ハムは千切りにする。
④①から③としそ昆布、さきいかをボウルに入れて和える。
⑤器に盛りつけてできあがり！

これまでのレシピはコチラから！

調理担当　ヘルスメイトからの一言



短時間で手軽にできるのでお子様とご一緒にいかがですか？しそ昆布など味がついているので、ドレッシング無しでそのまま食べてみましょう！

高橋　和子（桜町3区）



『町制施行70周年』に思う。
～未来にも　桜と笑顔の　彩りを～

大河原町長　齋　清志

昭和31年9月30日に旧大河原町と金ケ瀬村が合併して新生大河原町が誕生しました。今日までの本町の発展は、先人のたゆまぬ努力と情熱あふれる挑戦の賜物であり、尽力された全ての皆様に心からの感謝と敬意を表するところです。

多くの人々が支え合い歩んできた歴史を振り返ると、桜とともに生きてきた証や潜在的な地域の持つ力を再確認することができます。今後とも、町の目指す将来像『ひと・まち・桜が咲きほこる先進のまち』の実現に向けて、共に手を携えながら地域の絆を深めてまいりたいと考えています。

また、本町の持つ特徴である中心性（交通・行政）、拠点性（医療・教育）、利便性（商業・賑わい）を広域的にも活かす役割が期待されています。清流白石川と蔵王連峰を眼前に望むロケーションで現在整備を進めている『賑わい交流拠点施設』は、令和10年4月にいよいよオープンを迎えます。桜がつなぐ交流とスポーツの賑わいテラスとして、広く愛される空間となっていくことでしょう。

町制施行70周年記念のキャッチフレーズ『未来にも　桜と笑顔の　彩りを』は、金ケ瀬中学校の生徒さんの作品ですが、本町の理念として掲げる『Well－being なまちづくり』にもつながるものと有り難く受け止めています。

是非、先人のつくり上げた伝統と歴史を守りながら本町の果たすべき役割として、人と人・人と地域・地域と地域をつなぐことに誠心誠意努力してまいる所存です。皆様の変わらぬご協力とご支援をお願い申し上げます。

（10月19日記）



tree doctor

町内在住の樹木医
尾形政幸先生の花は桜木



第62回　桜は人で咲く　烏帽子山千本桜を見学して

今年の9月、山形県南陽市赤湯の烏帽子山公園に行き、「日本のさくら名所100選の地『烏帽子山千本桜』」（図1）を見学してきました。

実は、昨年（2025年）の4月に、「CF（クラウドファンディング）開始」の記事を見つけ、烏帽子山公園と見晴らし台の整備が気になっていた折、偶然にも6月に「烏帽子山千本桜保存会」の皆さんが「置賜さくら会」の一員として本町を訪れたのがきっかけでした。

烏帽子山千本桜は赤湯温泉街にあります。ご案内下さった保存会4代目会長の竹田さん（図2）は言います。「公園は明治11（1878）年に藪に覆われた狐狸が棲むばかりだった山を赤湯の地区民が拓き、桜を植え、茶屋を建てたのが始まりで、『賑やかな街づくり』を掲げた地区民の大志を受け継いでいます。つまり、桜は人で咲くのです」と。そのため、会員130名が中心となり、植樹活動をはじめ、さくらの日（3月27日）の苗木無料配布、「桜にごはん」と銘打った小学3年生による肥料やり（図3）、PTAも参加の清掃活動、中学生講話、親子参加の缶バッチづくり（図4）など、活動は多岐にわたります。花見の季節には、年間10万人を超える観光客を「花咲かじいさん」をコンセプトに「おとぎ桜」の枝に人形をあしらったり、自ら扮して楽しませたりと、地域一体の温かい活動が続いています。

大河原町から公園までは七ヶ宿町を通り、山を越えてしばらく進むと到着します。一押しは「全国桜名木二代目園」で、山梨県の「山高神代桜」（樹齢約2000年）（図5）など全国の名木を受け継いだ苗木を植えているため、その場にいながらにして日本一周の気分を味わえます。世界でも数少ないエドヒガンの大規模な群生地も見応えがあります。

今度はぜひ桜が咲く春に訪れ、温泉と花見の両方を楽しみたいものです。

